

あいさつにかえて

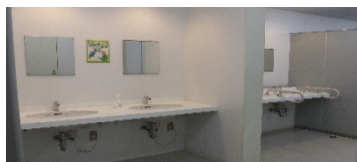
神奈川県立藤沢清流高等学校のホームページへようこそ。

この4月から本校に着任いたしました校長の萩谷と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まじめがかっこいい！……時を守り、場を清め、礼を尽くす

本校に着任してすぐに感心したことが三つありました。

一つは、どの授業もチャイムと同時に授業が始まるということです。生徒たちはチャイムが鳴る前に着席し、授業に備えています。こういう態度は、「ジャストタイム」と呼ばれ藤沢清流の伝統となりつつあります。



二つめは、トイレや生徒昇降口が非常にきれいだということです。本校は一足制を採用しており、生徒は校内で上履きに履き替えません。それでも校内は清潔に保たれ、汚れやすい場所もとてもきれいに使われています。

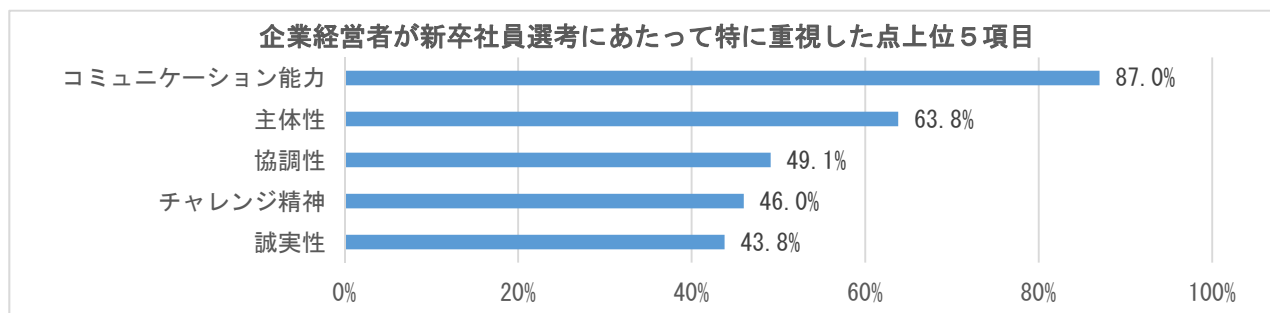
三つめは、生徒も教員も盛んにあいさつを交わすということです。元気のよいあいさつは、とても気持ちのよいものです。近隣の方々からも「礼儀正しい」とのお褒めの言葉をいただきました。



明治生まれの教育者・哲学者、森信三が提唱した至言に「時を守り、場を清め、礼を尽くす」というものがあります。この三大原則を守れば、その組織は成果を挙げることができるということです。藤沢清流は、この三大原則を普通に行っている学校なのです。

新たな学びの方法……アクティブ・ラーニング+リーダーシップ教育

こうした土台の上に、本校では「主体的・対話的で深い学び」、いわゆるアクティブ・ラーニングを数年前から授業に積極的に取り入れ、生徒たちは仲間同士で教え合いながら90分の授業で楽しく意欲的に学力を向上させています。生徒たちは、社会から強く求められるコミュニケーション能力や協調性ととともに、これからの大学入試で問われる思考力・判断力・表現力も身に付けています。



日本経済団体連合会「2016年度 新卒採用に関するアンケート調査結果」より

また、いわゆるアクティブ・ラーニングを効果的に発展させるリーダーシップ教育も本格的に始動しました。これは、権限や役職に関係なく、一人ひとりが周囲を巻き込み目標に向かって集団を導く力を育てる指導方法で、今後、新たな教育の方向として注目されることでしょう。

藤沢清流高等学校では、このように堅固で先進的な教育をさらに推進してまいります。今後とも、みなさまの御支援をお願い申し上げます。

神奈川県立藤沢清流高等学校
校長 萩谷 英明（はぎのや ひであき）